



2020

2019.4.1～2019.9.30

2020年3月期 第2四半期
決算説明資料

 **アドソル日進**
代表取締役社長 上田 富三

2019年11月26日

アドソル日進 代表取締役社長の上田でございます。

本日は、ご多様な中、
「2020年3月期、第2四半期決算説明会」に
お越しいただき、
まことに、ありがとうございます。

それでは、お手元のスライドに従いまして、
ご説明申し上げます。

2020年3月期 第2四半期 決算概要


2020年3月期 重点施策と業績見通し

上半期の取組み

2

本日は、
ご覧の項目について、
ご説明いたします。

まずは、
「2020年3月期、第2四半期決算概要」から、
ご説明いたします。


 最高益
更新!!

最高売上・利益・受注高 更新!!

売上高	65億22百万円	(前期比 + 10.0%)
-----	-----------------	-----------------------

営業利益	6億22百万円	(前期比 + 18.5%)
------	----------------	-----------------------

受注高	67億92百万円	(前期比 + 9.7%)
-----	-----------------	----------------------

受注残高	24億93百万円	(前期比 + 8.7%)
------	-----------------	----------------------

■通期業績予想に対する進捗率

 売上高 : **51.8%**

 営業利益 : **56.6%**
ご参考 2020年3月期 通期業績予想 売上高：126億円／営業利益：11億円 3

2020年3月期、第2四半期、業績の総括です。

売上高は、「10%」増の「65億22百万円」、
営業利益は、「18.5%」増の「6億22百万円」と、
売上・利益ともに、

前期を上回り、

また、期初計画も、超過達成しております。

結果、最高売上と、最高利益を更新しました。

また、受注高、受注残高、共に、
過去最高を更新しております。

業績予想に対する 進捗はご覧の通りです。

現段階では、通期業績予想は、据え置いており、
売上高126億円、
営業利益11億円を 見込んでおります。

◆**収益性アップ**：粗利益率**25.3%** 営業利益率**9.5%**

(単位：百万円)	2019/3 2Q		2020/3 2Q		前期比	
	実績	率%	実績	率%	増減額	増減率%
売上高	5,930	-	6,522	-	591	10.0
社会インフラ事業	3,481	58.7	4,323	66.3	842	24.2
先進インダストリー事業	2,449	41.3	2,198	33.7	△250	△10.2
売上総利益	1,447	24.4	1,649	25.3	201	13.9
販売管理費	922	15.5	1,026	15.7	104	11.4
営業利益	525	8.9	622	9.5	97	18.5
経常利益	518	8.7	636	9.8	118	22.8
四半期純利益	358	6.1	439	6.7	80	22.4
受注高	6,190	-	6,792	-	601	9.7
受注残高	2,292	-	2,493	-	200	8.7

4

それでは、業績のご説明に移ります。

まず、損益計算書の概要です。

- ・「売上総利益率」は、
「0.9ポイント」アップの、
「25.3%」、
- ・「営業利益率」は、「9.5%」と、
「0.6ポイント」アップしました。

2020年以降を見据えた「投資」も、
しっかり、行っておりますが、
「過去最高利益」で、着地しました。

- ◆ 社会インフラ事業 : **エネルギー** (電力・ガス)
- ◆ 先進インダストリー事業 : **基盤** (決済・データサービス)、**制御** (メディカル、次世代自動車)
- ◆ IoX総合エンジニアリング事業 : **IoTセキュリティ** 継続

	2019/3 2Q		2020/3 2Q		前期比	
	実績	構成比%	実績	構成比%	増減額	増減率%
(単位: 百万円)						
売上高	5,930	-	6,522	-	591	10.0
社会インフラ事業	3,481	58.7	4,323	66.3	842	24.2
エネルギー	2,691	45.3	3,302	50.6	610	22.7
交通・運輸	438	7.3	676	10.4	238	54.4
公共	37	0.6	71	1.1	34	90.3
通信・ネットワーク	313	5.2	273	4.2	△40	△13.0
先進インダストリー事業	2,449	41.3	2,198	33.7	△250	△10.2
制御システム	1,080	18.2	954	14.6	△126	△11.7
基盤システム	986	16.6	1,001	15.4	14	1.5
ソリューション	381	6.4	242	3.7	△139	△36.5
(内、IoX総合エンジニアリング事業)	2,030	34.2	1,653	25.3	△377	△18.5

5

つづいて、
セグメント別の 概要 は、ご覧の通りです。

「社会インフラ事業」では、
電力・ガスの「エネルギー分野」や、
旅行関連の「交通・運輸分野」が、

また、
「先進インダストリー事業」では、
決済基盤などの「基盤システム分野」が、

それぞれ、好調に推移しました。

それでは、次項以降で、
詳細の、ご説明をいたします。

受注状況

- エネルギー
 - 電力：分社化、基幹システム、新領域
 - ガス：分社化、基幹システム、IoT・DXテーマ（クラウド、アジャイル、IoT等）
- 交通・運輸
 - 旅行関連は、拡大（新サービス向け案件、システム更改案件他）
 - 宇宙関連は、計画通り推移
- 通信・ネットワーク
 - 次世代通信（5G）継続



まず、「社会インフラ事業」です、

- ・「エネルギー分野」は、
電力・ガスの、「分社化」や、「IoT・DX」等をキーワードに、
旺盛な需要を取込み、拡大しました。
- ・「交通・運輸分野」では、旅行関連の更改需要を取り込み拡大しました。
また、中期的な成長のカギとなる、「宇宙関連」も、
しっかり対応しております。
- ・「通信・ネットワーク分野」では、5Gの取組みを継続しております。
一部案件が、前期末で終了したことから、
エネルギー分野へ、シフトを推進しました。

結果、

売上高は、

「24.2%増」の「43億23百万円」、

また、受注残高は、

「35.6%増」の、「16億31百万円」と なりました。

受注状況

- 制御システム
 - メディカル：多拠点・分散開発推進
 - 次世代自動車、IoT基盤、オフィス機器等は計画通り
- 基盤システム
 - 決済基盤、データサービス関連：対応領域拡大
- ソリューション
 - LynxSECURE 採用継続（医療情報ネットワークシステム）
 - 地理情報（GIS）、堅調
 - セキュリティ・コンサルティング 終了



続いて、「先進インダストリー事業」です。

- ・「制御システム分野」では、
「メディカル関連」で、持ち帰り開発への取り組みを、強化した結果、増加しました。
また、先進EVや、自動運転等の「次世代自動車関連」や、IoT基盤関連、オフィス機器などが、計画通り推移しました。
- ・「基盤システム分野」では、
決済基盤や、データサービス関連を中心に拡大しました。
- ・「ソリューション分野」では、
IoTセキュリティの、LynxSECUREが新たに採用されましたが、大手企業向けの、セキュリティ・コンサルティングが、終了し、社会インフラ事業の、エネルギー関連等にシフトしました。

以上の結果、
売上高は、「21億98百万円」、
また、受注残高は、「8億61百万円」と なりました。

受注状況

- 先進的なIoTデバイス制御関連（次世代自動車等）
IoTプラットフォーム関連、GIS（地理情報システム）
- セキュリティ・ソリューション（LynxSECURE）継続
（医療情報ネットワークシステム）
- セキュリティコンサルティング 終了

IoTの
取組み!

8

続いて、当社のIoT関連の取組みを示す、「IoX総合エンジニアリング事業」です。

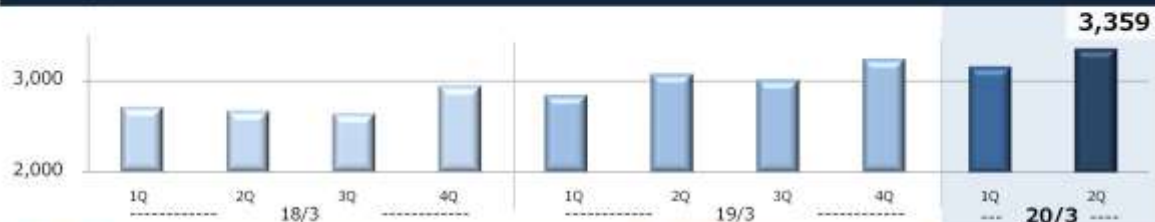
- ・「IoT関連」では、「IoT・プラットフォーム関連」、「GIS（地理情報システム）」等が計画通り、推移しました。
- ・「セキュリティ関連」では、セキュリティ・ソリューション：LynxSECUREが、医療情報ネットワークシステムで採用されました。尚、セキュリティ・コンサルティングが前期末で終了しております。

以上の結果、売上高は、「16億53百万円」となりました。引き続き、「IoTや、DX」への取組みを推進し、「Society5.0」の実現に、貢献してまいります。

四半期別推移

売上高

●最高売上高 更新!!



受注高

●33.8億円 (前年同期比 +3.9 億円)



受注残高

●24.9億円 (前年同期比 +1.9 億円)



四半期毎の

「売上高」、
「受注高」、
「受注残高」は、
ご覧の通りです。



続いて、経常利益の分析です。

「増収効果」や、
「原価率」の、改善等により、

「投資」による、販売管理費の 増加を吸収し、

「 6億 36百万円 」と、
「 過去最高 」を更新しました。

資産

● 総資産：72 億円 (6.1億円増)

(単位：百万円)



負債・純資産

● 自己資本比率：58.8% (0.1%上昇)

(単位：百万円)



貸借対照表は、ご覧の通りです

自己資本比率は、「58.8%」と、健全な状況を 保っております。

概要

(単位：百万円)	19/3 2Q	20/3 2Q	変動要因	
営業活動	193	567	・税引前四半期純利益	636
			・減価償却費	47
			・売上債権の減少	193
			・未払金の減少	△81
			・たな卸資産の増加	△63
			・法人税等の支払	△181
投資活動	△395	△479	・有形固定資産の取得による支出	△25
			・投資有価証券の取得による支出	△364
			・関係会社株式の取得による支出	△70
財務活動	△159	191	・短期借入金の純減少額	△50
			・長期借入れによる収入	350
			・配当金の支払額	△145
現金及び現金同等物の 期末残高	1,431	1,651		

キャッシュ・フローの状況は、
ご覧の通りです。

2020年3月期 第2四半期 決算概要

2020年3月期 業績見通し

上半期の取組み

13

次に、
今期、「2020年3月期」の、
「通期 業績見通し」について、
ご説明いたします。

◆ 10期連続の増益！（過去最高益更新！！）

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期		前期比	
	実績	構成比%	見通し	構成比%	増減額	増減率%
売上高	12,194	-	12,600	-	405	3.3
社会インフラ事業	7,435	61.0	7,535	59.8	99	1.3
先進インダストリー事業	4,758	39.0	5,065	40.2	306	6.4
(内、IoX総合エンジニアリング事業)	3,917	32.1	4,057	32.2	140	3.6
売上総利益	2,820	23.1	3,089	24.5	269	9.5
営業利益	1,012	8.3	1,100	8.7	87	8.7
経常利益	1,012	8.3	1,108	8.8	95	9.5
当期純利益	687	5.6	703	5.6	15	2.2

14

売上高は「126億円」、
 営業利益は「11億円」、
 当期純利益は、「7億3百万円」と、

現行・中期計画の、
 最終年度の「売上目標」の、
 「1年前倒し」達成を、目指すと共に、

「10期連続の、最高利益の更新」を
 見込んでおります。

最終年度 業績目標

(2021/3期 売上高: **126**億円)

今期 **達成見込み** (1年前倒し)



「新・中期経営計画」策定中

(発表予定: 2020年 春)

15

これにより、現在、
「中期計画の見直し」に、
着手しております。

来年、春ごろの発表を、
予定しております。

◆ 配当方針

- 配当性向 **35%以上**
- 配当計画 年 **2** 回（中間、期末）

◆ 配当予想

(単位:円)	2019/3期	2020/3期
中間	11	14
期末	16	14
年間	27	28

◆ 配当推移



続きまして、配当です。

配当性向は、「 35%以上 」、
株主配当は、「 中間・期末の 年2回 」と、
しております。

今期は、
「 上期14円 」、「 下期14円 」の、
「 年間28円 」で、
「 10年連続増配 」を見込んでおります。

なお、
今期の配当性向は、「 36.3% 」の見込みです。

対象株主 & 時期

■ 毎年9月30日、3月31日の株主様（年2回）

● 200株以上4,000株未満 : 12月、6月に優待品を発送予定

● 4,000株以上 : 11月、5月にカタログを発送予定

優待内容

■ 200株以上4,000株未満

「緑の募金」付きQ U Oカードを贈呈

- 200株以上 1,000株未満 500円相当
- 1,000株以上 2,000株未満 1,000円相当
- 2,000株以上 4,000株未満 1,500円相当

● 保有期間特典

1年以上で Q U Oカード1枚（500円相当）を
年間 2枚 追加贈呈



■ 4,000株以上

● 「緑の募金」付きQ U Oカード（3,000円相当） 又は

● 「紀州梅」「みかんジュース」「みかんゼリー」「醤油」「お米」等
から選べる株主優待カタログ
（3,000円相当の商品から一品）を贈呈



注。写真はイメージで実際の商品と異なる場合があります。

また、
「株主還元」として
「配当」に加え、

「保有株数」に応じた「優待制度」を設けており、
「梅ギフト」や「お米」、「クオカード」などを

年2回、
贈呈させていただきます。

上半期の取組み

1. セキュリティへの取組み

- 1) IoT・サイバー・セキュリティ
- 2) IoT時代のセキュリティフォーラム2019
- 3) 米国Lynx社「宇宙・安全保障分野」での「共同事業展開」
- 4) DESI Japan 2019 出展

2. アライアンス活動

- 1) 産学連携
- 2) グローバル展開
- 3) 企業連携

3. アドソル・ブランド戦略

- 1) プロモーション活動
- 2) 品質への取組み

4. 重点戦略



18

上半期の、当社の取組みをご紹介します。



まず、
当社が注力する、
IoT・サイバーセキュリティ・ソリューションは、
ご覧の、

- ・「IoT デバイス」、
- ・「制御 システム」、
- ・「ネットワーク」、
- ・「コンサルティング」、
- ・「人材育成」や、
- ・特許を保有しております、電界通信を 活用した、
入退室の「フィジカル・セキュリティ」等、

幅広い サイバー・セキュリティを、
お客様に、ワンストップでご提供しております。

IoT時代のセキュリティ・フォーラム2019 5年連続!!

400名

～ 重要インフラを守る！ IoT化で求められるセキュリティ ～



プログラム

■キーンोटスピーチ



同時
通訳

■パネルディスカッション



情報理工学部/情報理工学科
教授 上原 哲太郎 氏

デロイト トーマツ サイバー合同会社
トレンドマイクロ株式会社
アドソル日進

■個別セッション

デロイト トーマツ サイバー合同会社
トレンドマイクロ株式会社
豊洋エレクトロ株式会社、アドソル日進

概要

- ◆日時 **2019年10月11日 12:00～18:00**
- ◆会場 **グランドプリンスホテル高輪**
- ◆主催 **アドソル日進**
- ◆協賛 **LYNX** **KONICA MINOLTA**



展示会



Lynx Software Technologies, Inc., コニカミノルタ株式会社,
トレンドマイクロ株式会社, 株式会社バリューHR, 株式会社たけびし, Siemens,
豊洋エレクトロ株式会社, 株式会社マクニカ, 立命館大学
株式会社GKI, Top Out Human Capital株式会社, アドソル日進

セキュリティブランドの強化として、
本年「10月」には、「5年連続」となる、
「IoT時代のセキュリティ・フォーラム2019」を開催しました。

昨年に引き続き、半導体の「アーム社」や、
欧州で、IoTビジネスを推進する「アイングラ社」より、
「IoT」や、「セキュリティ」を中心に、講演をいただきました。

また、IoTセキュリティの、第一人者として活躍される
立命館大学の「上原教授」をモデレーターに、
パネルディスカッションを、行ったほか、
当社、及び、協賛会社様から、
最先端の「IoT」や「セキュリティ」に関する
講演や、展示を、いたしました。

「400名」を超える、お客様をご招待し、
大変、大きな反響を、頂きました。

宇宙・安全保障分野

“ 日・米 共同展開 ”



社会インフラ

先進インダストリー

「エネルギー(電力・ガス)」

「道路・鉄道」

「航空・宇宙」

「公共・防災」

「通信ネットワーク」等

LynxSECURE

IoT・サイバー・セキュリティ

新分野!!



宇宙・安全保障分野へ 日米・共同事業展開!!

次に、先日、11月18日に、プレス発表しました、米国Lynx社との、サイバーセキュリティや、IoT・DXソリューションの、宇宙・安全保障分野向けの、共同事業展開についてご説明します。

当社は、30年以上にわたり、米国リンクス社と、リアルタイムOSの、「リンクスOS」や、IoTセキュリティの、「LynxSECURE」等、リンクス社の、「全IoTソリューション」を、国内のお客様に、独占提供しております。リンクス社の製品は、米国航空局の、最高レベルの要求を満たしており、高機能・品質に、定評があります。

こういった、高い技術力を背景に、高いレベルでの、「技術」と「セキュリティ」が要求される「宇宙・安全保障分野」にサイバーセキュリティや、IoT・DXソリューションの提供を推進して参りたいと、いうことで今回の合意に、至りました。

防衛・セキュリティ総合展示会

日・米
共同!!

“セキュリティ” “災害対策” “IoT”

概要

- ◆会期 : 2019年11月18日～20日
- ◆会場 : 幕張メッセ 第7・8ホール
- ◆出展団体 : 国内外の大手・最先端メーカーなど

Supported by



<https://www.dsei-japan.com/jp>

出展概要

LynxSECURE セキュリティ・ソリューション



- ◆セキュア・ラップトップ
 - ・ネットワーク完全分離
- ◆リアルタイムOS : LynxOS 178
 - ・米国防務航空局 (DO178B/C) 規格
- ◆アドソル・ブランド
 - ・Lynx 社との協業 (30年以上)
 - ・セキュリティ領域への展開
 - ・社会インフラ・ミッションクリティカル



この、共同展開の、第一弾として、先日、千葉の幕張メッセで、国内 初開催された、「DSEI-JAPAN : 防衛・セキュリティ展示会」に出展しました。

期間中は、最先端の領域を 取り組む、ワールドワイドの、「企業 関係者様」が当社ブースに、来場いただき、

宇宙・航空向けの、「LynxOS178」や、サイバー・セキュリティを強化した「モバイル端末」、当社の、社会インフラや、IoTシステムでの40年以上にわたる、幅広い実績を、ご紹介しました。

「宇宙・安全保障分野」で、サイバーセキュリティや、IoT、災害対策などのソリューション提供を通じて、技術力の強化と、アドソル・ブランドの向上につなげてまいります。

上半期の取組み

1. セキュリティへの取組み

- 1) IoT・サイバー・セキュリティ
- 2) IoT時代のセキュリティフォーラム2019
- 3) 米国Lynx社「宇宙・安全保障分野」での「共同事業展開」
- 4) DESI Japan 2019 出展

2. アライアンス活動

- 1) 産学連携
- 2) グローバル展開
- 3) 企業連携

3. アドソル・ブランド戦略

- 1) プロモーション活動
- 2) 品質への取組み

4. 重点戦略



23

次に、アライアンス活動について
ご説明します。

「コンサルティング」「セキュリティ」「グローバル」「IoT」

アライアンス



産学連携

名古屋工業大学
早稲田大学
慶応義塾大学
立命館大学
静岡大学
千葉大学
東京医療保健大学

アドソル日進

グローバル



研究団体



24

当社の、アライアンス活動は、

「コンサルティング」、「セキュリティ」、
「グローバル」、「IoT」などをキーワードに、

高度な専門性を有する、国内外の、企業との
アライアンス戦略を、積極的に、推進しております。

また、各大学との共同研究・産学連携や、
先進領域での、業界団体活動、
「米国サンノゼ R&Dセンター」を通じた、
最先端の、技術習得を、推進しております。

産学連携で、「市場創成」 「最新技術」

名古屋工業大学

・「制御システムのサイバー攻撃対策」

- ◆「つるまひプロジェクト」
制御システム（工場、プラントなど）の、
サイバー攻撃・防御技術、制御製品の
セキュア化技術研究



名古屋工業大学



工場プラント

早稲田大学

・「EMS 新宿実証センター」

- ◆早稲田大学先進グリッド技術研究所と経済産業省 日本初
- ◆電気・ガス、通信、住宅、自動車、家電など「26法人」
- ◆複数メーカーの機器連携



早稲田大学EMS新宿実証センター

立命館大学

・「IoTセキュリティ
／ 組込みマルチコア」

- ◆産学連携協定
 - ・最新テクノロジーの研究
 - ・IoTセキュリティ・ガイドライン
 - ・IoTセキュリティ研究センター、コンソーシアム
 - ・人材の育成

- ◆次世代IoT機器向け 共同研究
 - ・組み込み「マルチコア制御シ



毛利研究室との共同研究



協定締結式

慶應義塾大学

・「GIS×IoTプラットフォーム」

- ・「Ti-Construction」（国土交通省推進）
- ・「地理情報システム学会」
- ・「ベルモント国際共同研究」



新研究室との共同研究



第27回学術研究発表大会



まず、産学連携としては、

- ・名古屋工業大学との、
「制御システムでのサイバー攻撃対策」
- ・早稲田大学との、
「EMS関連」、
- ・立命館大学との、
「IoTセキュリティ」、
- ・慶應義塾大学との、
「GIS(地理情報)関連」

などを、各大学と、取り組んでおります。

今後も、「医療 ・ セキュリティ ・ 教育」など
様々なテーマで、他の大学や、研究機関と
共同研究を進めています。

立命館大学 「産学連携協定 締結」

～ IoTセキュリティ分野 を主とする 科学技術の発展 ～

1 セキュリティに関する
最先端テクノロジーの研究

IoTセキュリティ・
ガイドライン

2

Point !!

3 IoTセキュリティの、
“研究センター”
“コンソーシアム”
“設立”

IoTセキュリティ
人材の育成

4



立命館大学 草津キャンパス

産学連携協定 協定締結式



協定締結式、及び共同記者会見を開催



(2019年4月：立命館大学 東京キャンパスにて)

この中で、
この4月に、立命館大学と、
IoTセキュリティ分野を、主とする科学技術の発展
を目指す、「産学連携協定」を締結しました。

(この、4月22日には、
共同で、協定締結式と、記者会見を行いました。)

今後、
最先端テクノロジーの研究などに加え、
将来的には、
「研究センター」や「コンソーシアム」を設立し
国内の、IoTセキュリティでの、
「最先端の拠点」を視野に、活動していきます。

「最先端R&D：米国」 「グローバル開発：中国2拠点・ベトナム3拠点」



27

つづいて、グローバルへの取り組みをご紹介します。

米国では、
子会社の「サンノゼR&Dセンター」にて、
「IoT・セキュリティ」の、
「研究開発」や「実証実験」と、「ビジネス展開」を、
推進しております。

アジア、アセアン圏では、
増加する ICT需要に応えるための、
国内のお客様の、ハイレベルな ご要望にお応えする
開発体制を、
「中国2拠点」、「ベトナム3拠点」で、
対応しております。

医療情報：バリューHR社「資本・業務提携」



- ◆業務提携： データを保護する 高セキュリティな IoTプラットフォーム開発
 - ◆ 健康保険組合 ◆ 医療機関 ◆ 重要データ
- ◆資本提携： 2%（相互保有）



2019年6月27日
アドソル日進にて



IoTプラットフォーム
(医療データなど)

<会社概要>

- ・設立：平成13年7月4日
- ・代表者：代表取締役社長 藤田 美智雄
- ・本社：東京都渋谷区
- ・東証1部
- ・URL <https://www.valuehr.com/>
- ・事業概要：
 - バリューカフェテリア®システム
 - 保険事業支援サービス
 - 健康管理・健康支援サービス
 - 健康管理業務支援サービス
 - 健康保険組合の設立支援

28

次に、企業連携・アライアンス活動を、ご説明します。

本年5月に、
医療情報ビジネスを、推進される、
東証1部の、「バリューHR社」と、
資本・業務提携を 締結しました。

高セキュリティな、医療情報プラットフォームの
共同開発や、展開など、
様々な連携を見据えての、提携です。

資本関連では、
相互に「 2% 」の 株式を取得することと、
しております。

ヒューマンテクノシステム・グループ 「開発体制の強化・拡充」

HTS ヒューマンテクノシステム



アドソル日進

◆幅広いICT領域で協業！

- ◆ エネルギー（電力・ガス） ◆ 医療関連 ◆ 組込みシステム関連
- ◆ 車載関連 ◆ 旅行関連 ◆ 航空関連 等



関連会社

2020年以降の ICT投資対応

開発体制強化

協業ビジネスの推進

人材交流（品質、マネジメント力）

< 会社概要 >

- ・設立：1997年6月
- ・代表者：
 - 代表取締役会長 菊池 文彬
 - 代表取締役社長 田上 秀尚
- ・本社：福岡県福岡市
- ・拠点：東京、大阪、愛知、熊本、神奈川、鹿児島
- ・グループ会社：5社
 - ヒューマンテクノシステム
 - ヒューマンテクノシステム津京
 - HTSエイス、アイブラザ、カト
- ・URL：<http://hits.kkhts.com/>
- ・事業概要：パッケージ開発・販売、ソフトウェア開発・設計・製造、ソリューションサービス、システムコンサルティング

29

次に、本年4月には、システム開発の、「ヒューマン テクノシステム ホールディングス社」の、「第三者 割当増資」を引受け、当社の「関連会社」としました。

「協業ビジネス」や「人材交流」等を通じて2020年以降も、底堅いICT投資需要へ対応してまいります。

上半期の取組み

1. セキュリティへの取組み

- 1) IoT・サイバー・セキュリティ
- 2) IoT時代のセキュリティフォーラム2019
- 3) 米国Lynx社「宇宙・安全保障分野」での「共同事業展開」
- 4) DESI Japan 2019 出展

2. アライアンス活動

- 1) 産学連携
- 2) グローバル展開
- 3) 企業連携

3. アドソル・ブランド戦略

- 1) プロモーション活動
- 2) 品質への取組み

4. 重点戦略



30

次に、
アドソル日進の、ブランド戦略について
ご説明します。

「フォーラム・セミナー・展示会」へ、積極的に参加

◆地理情報システム学会 第28回学術研究発表大会
(2019/10/19~20 徳島大学)

◆SATEX (衛星測位・位置情報展) 2019
(2019/9/11~13 東京ビッグサイト)

◆サイバーセキュリティソリューション地域別講座 (京都)
(2019/7/22 京都経済センター)

◆横浜国立大学 第4回 IoTセキュリティフォーラム
(2019/7/30~31 御茶ノ水ソラシティ)

◆Interop Tokyo 2019
(スマートジャパンアライアンス、2019/6/5~7 東京ビッグサイト)

◆Smart Sensing 2019
(2019/6/5~7 東京ビッグサイト)

◆第15回 GISコミュニティフォーラム
(2019/5/23~24 東京ミッドタウン)



31

まず、
プロモーション活動としては、
先ほどご紹介しました、
「IoT時代のセキュリティフォーラム」のほか、
ご覧の、
フォーラム ・ セミナー ・ 展示会へ参加し、

当社独自の
スマート・ソリューションや
セキュリティ・ソリューションの訴求と、

当社ブランドの向上を
図っております。

「米国 RSAカンファレンス 2019」

3年連続出展



概要

- ◆日時 2019年3月4日～8日
- ◆会場 The Moscone Center (米国サンフランシスコ)

- ・1993年より、毎年開催。
- ・世界最大
- ・最先端のセキュリティ専門カンファレンス&展示会 (IT技術、標準規格、実装、法規格、政策、セキュリティ脅威など)

ミニセミナー



日本パビリオン



32

この様な、活動の中で、
本年春に、米国、サンフランシスコでの、
世界最大の、セキュリティ専門 カンファレンスである、
「 RSA カンファレンス 」に、
3年連続で 出展しました。

欧米での、最新の
IoTセキュリティの情報収集と、
研究開発や国内展開に、
今後も注力してまいります。

又、毎年春に、ドイツで開催される
欧州最大の、「 ハノーバーメッセ 」に
出展を、計画しております。

高品質な ICTシステム



33

また、当社では、
高品質な ICTシステムを、ご提供するため、
「品質」への取組みに、注力しております。

「プロジェクト マネジメント」、
「プロジェクト 監視」、
「独自開発の、オリジナル・ツール」、
「人材育成」の視点から、

当社独自の、取組みを 推進し、
品質力の向上に、継続して
取り組んでまいります。

上半期の取組み

1. セキュリティへの取組み

- 1) IoT・サイバー・セキュリティ
- 2) IoT時代のセキュリティフォーラム2019
- 3) 米国Lynx社「宇宙・安全保障分野」での「共同事業展開」
- 4) DESI Japan 2019 出展

2. アライアンス活動

- 1) 産学連携
- 2) グローバル展開
- 3) 企業連携

3. アドソル・ブランド戦略

- 1) プロモーション活動
- 2) 品質への取組み

4. 重点戦略



34

最後に、
重点戦略について
ご説明します。

事業領域の拡大

社会インフラ事業

- 事業基盤の強化 ⇒ ・電力関連 (分社化・発送電分離)
・ガス関連 (分社化、導管分離)
- 新領域の開拓・拡大 ⇒ 「宇宙」「物流」「5G (次世代通信)」

先進インダストリー事業

- ものづくりIoT化 ⇒ 「次世代EV自動車」「自動運転」「産業機器」ほか
- キャッシュレス ⇒ 「次世代決済・カード」
- 新領域の展開 ⇒ 先進技術の活用 : 「ビッグデータ」, 「AI」

新たな価値の創造・提供に挑戦

IoX総合エンジニアリング事業

- 差別化技術 ⇒ 「IoTサイバー・セキュリティ・リユース」
「AI」「ビッグデータ」「GIS (地理情報システム)」「無線通信」

競争優位の発揮

- ソリューション強化 ⇒ AI-IoTプラットフォーム (クラウド型)
- 産学連携・共同研究 ⇒ IoTセキュリティ・GIS・マルチコア

重点戦略では、
社会インフラ事業、先進インダストリー事業
それぞれで、
電力、ガス、宇宙、5G、次世代自動車、AI等の
先進技術を キーワードに、
事業領域の 拡大に つながる
重点施策を 推進して参ります。

また、
「IoTサイバー・セキュリティ」「AI」、
「GIS(地理情報システム)」等で
新たな価値の創造・提供に挑戦 してまいります。

更に、
AI・IoTプラットフォームなどのソリューションや、
産学連携などを通じて
競争優位を発揮して参ります。

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

尚、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

■お問合せ先

 **アドリル日進株式会社**

URL <http://www.adniss.jp/>

【本 社】 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバーシティ品川9階、10階

TEL：03-5796-3131（代表）

管理本部 経営企画部 広報・IR担当 TEL：03-5796-3261

メール：ir@adniss.jp

以上で、
「2020年3月期 第2四半期」決算の
ご説明を 終わらせていただきます

ありがとうございました。

The graphic features a large black circle in the top left, partially overlapping a blue shape. A diagonal white band with a black border runs from the top right to the bottom left, containing the word "Appendix" in blue. The background is split diagonally into black and blue sections.

Appendix



37

< 事業概要等の 資料になります。 >
< ご参照ください。 >

社会インフラ事業

「エネルギー(電力・ガス)」「道路・鉄道」「航空・宇宙」「公共・防災」「通信ネットワーク」などの社会インフラにおけるシステム・インテグレーション・サービスを展開しています。

エネルギー分野

電力会社、ガス会社向けの基幹システムや自由化システムなど

交通・運輸分野

宇宙、航空、鉄道、道路に関連するICTシステム

公共分野

防災、ダム、河川など官公庁や、地方自治体向けのICTシステム

通信・ネットワーク分野

次世代通信(5G)など、通信関連のICTシステム



先進インダストリー事業

「次世代EV自動車」「産業機器」「設備機器」「医療機器」など、「日本のモノづくり」のIoTの促進と、次世代型の決済システムに関連する、先進的なICTシステムを提供します。

制御システム分野

次世代自動車、車載OS、オフィス機器、医療機器、設備機器など、お客様が販売する製品に組み込まれるICTシステム

基盤システム分野

決済や、クレジットカード・システムなどの、基盤系ICTシステム

ソリューション分野

セキュリティや、近距離無線通信、GIS(地理情報システム)等、当社独自のソリューションの提供



社会インフラ事業、と
先進インダストリー事業の
概要でございます。

IoX総合エンジニアリング事業

「安心・安全な超スマート社会（Society5.0）」の実現に向け、IoTサイバー・セキュリティ・ソリューションを中核に、AI・ビッグデータ・GIS（地理情報システム）・無線通信等の当社独自のソリューションを提供しています。

セキュリティ・ソリューション

- ・コンサルティングから、IoT機器向けセキュリティまでを、トータルで提供します。
- ・IoT機器向けセキュリティ・ソリューション：LynxSECURE（リンクスセキュア）
 - 生産工場をまるごと守る : SECURE FACTORY
 - オフィスを守る : SECURE RESCUE for Legacy
 - 建設現場を守る : SECURE RESCUE for USB
 - 病院・介護施設を守る : SECURE RESCUE for ClosedNET
- ・フィジカル・セキュリティ（人体通信） ・脆弱性診断サービス
- ・セキュリティ・コンサルティング・サービス（ガバナンス・コンプライアンス）
- ・ネットワーク・セキュリティ ・セキュリティ人材育成・教育サービス など

無線通信ソリューション

- ・IoTシステムに必要な不可欠な無線通信を総合的に提供します。
 - uLocation（屋内での位置検知システム）
 - uStack（近距離無線通信 LPWA、Nb-IoT、Zigbee®等）
 - tACCESS（独自特許の、電界通信システム）
 - uLook（電力などの見える化システム）など

GIS（地理情報システム）

- ・GIS（地理情報システム）の「コンサルティング」「システム開発」「PoC」「ソリューション」などをワンストップで提供します
- ・SUNMAP®ソリューション
 - SUNMAP for Crisis（BCPや危機管理支援）
 - SUNMAP for VRP（配送ルート計画支援）
 - SUNMAP for SER（商圏分析、マーケティング、現地調査ほか） など



IoX総合エンジニアリング事業の概要でございます。

2018年度

「セキュリティの今！世界と日本のIoTセキュリティ最前線」

協賛 Lynx Software Technologies, Inc.、ウェブルート(株)、コニカミノルタ(株)、
 (株)ニューテック、パナソニック(株)、ミツイワ(株)、豊洋エレクトロ(株)、
 (株)たけがし、(株)ラック、情報システム監査(株)、
 (株)GKI、Top Out Human Capital(株)
会場 グランドプリンスホテル高輪



2017年度

「本格化するIoT時代のセキュリティ対策最前線」

協賛 Lynx Software Technologies, Inc.、ウェブルート(株)、
 (一社)日本OMG、日本検査キユーエイ(株)、
 ミツイワ(株)、豊洋エレクトロ(株)
会場 グランドプリンスホテル高輪

2016年度

「ここまで進んでいる！IoTセキュリティ最前線」

主催 日本経済新聞社
特別協賛 アドソル日進(株)
協賛 Lynx Software Technologies, Inc.
会場 イイノホール(東京都千代田区)



2015年度

「スマート社会におけるサイバー・セキュリティ最前線」

協賛 Lynx Software Technologies, Inc.
会場 グランドプリンスホテル高輪

IoT時代のセキュリティフォーラムの、
2015年からの開催実績・概要です。

セキュア  ゲートウェイ

介護分野

「隔離」と「遮断」で、
介護システムの可用性を担保



採用!

セキュア  ログサーバーIoT工場
医療関連

「トレーサビリティ対応！」
「ログ収集」 + 「改ざん防止」 + 「AI」



採用!

SECURE  FACTORY

工場のIoT

「生産設備・機器を守る！」
データダイオード+ネットワーク分離



41

IoT時代のセキュリティフォーラム2019の
展示会において、
ご覧のソリューションをご紹介しました。

お客様に、製品に実際に触れていただくことで、
ご理解が、より深まったと考えております。

セキュア レガシー for Windows



エネルギー企業

採用!

「ネットワーク分離」で、
サポート切れ・レガシーOS を、
安全・継続利用!



セキュア プライバシー

サンノゼ：
R&Dセンター発!!

カメラ映像内の機密情報を
「LynxSECURE」でカット。
「カメラ監視」と「機密保護」を両立!



屋内・外 位置検知システム



GIS (地理情報システム)



位置+工程管理システム



電界通信：タッチタグ®



42

一番上の、セキュア・レガシーは、
サポートが切れた旧OSを安全に、利用することができる
ソリューションとして、「大手エネルギー企業」など様で、
ご採用頂いております。

また、中段のソリューションですが、
米国サンノゼの、シリコンバレーに
設置しております、
100%子会社の、サンノゼR&Dセンターで
新たに開発された、
監視カメラ・映像データ のセキュリティシステム
を、ご紹介しました。

今後も、米国：シリコンバレー発の、
ソリューション展開に、継続していきたいと思っております。

2019年4月 新卒入社

- ◆ 人数 : **40名** (前期比 **+10名**)
- ◆ 職種 : 技術エンジニア
- ◆ 内訳 : 大学院・・・15名、大学・・・25名



2020年4月 採用活動

- ◆ 採用計画 : **50名** (前期比 **+10名**)
- ◆ 内定人数 : **48名** (11月1日現在)
 - ・大学院 13名
 - ・大学 35名
 - ・グローバル人財・・・2名
(ベトナム人留学生)
- ◆ 職種 : 技術エンジニア



※2019年10月1日、内定式を執り行いました。

人財への取組みをご紹介します。

採用活動としては、
 本年、2019年4月に 新入社員40名が、入社しました。
 国公立の、理系出身者を中心に、
 将来有望な人材を、採用しております。

次に、来年、2020年4月に向けては、
 50名を目標に、順調に採用活動を進めております。
 (本日現在の内定者数は、48名です、
 また、10月1日には、内定式を行いました。)

あわせて、経験者採用にも積極的に取り組んでおります。

海外インターンシップ (米国サンノゼ)

米国
初開催!!

ハイレベル人材育成 : 「OS」・「セキュリティ」



立命館大学

期間 : 2019/8/26~9/20 (20日間)

参加者 : 3名 (学部3回生1名、修士1回生2名)

研究と成果開発



◆研究課題

ネットワーク分離された環境におけるデータ参照

◆成果発表

IoT時代のセキュリティ・フォーラム2019
展示会にて研究成果発表

(2019/10/11)

◆報告会

立命館大学にて、「海外インターンシップ報告会」
(2019/10/30 立命館大学にて)



インターンシップでは、
今回初めて、
米国サンノゼでの インターンシップを開催しました。

研究成果は、10月に開催した
IoT時代のセキュリティフォーラムの展示会で
発表しております。

今後も、様々な機会を通じて、
産学連携の人財育成に努めてまいります。